



プロバスだより

第328号

2023年3月9日発行

編集・発行：情報委員会

東京八王子プロバスクラブ

創立 1995年 10月 18日

2022～2023年度 テーマ

プロバスライフを元気に楽しむ すこしずつ動きだそう

第 328 回 例会

日 時 令和 5 年 2 月 9 日 (木) 12:00～14:15

場 所 八王子エルシィ

出席者 33 名 出席率 71.7 %

(会員総数 50 名、欠席 13 名、休会 4 名)

1. 開 会 井上例会副委員長

第 328 回例会の開催を告げ、配布資料の確認。

2. 会長挨拶 池田会長

お寒い中お集りありがとうございます。今日は 3 点ほどお伝えしたいことがあります。

ひとつは、昨年開催された全日本大会の収支結果が出て、名実ともに終了したことです。実行委員会と会員の皆様のお力で予算のうちに収まりました。ご協力に改めて御礼申し上げます。

次は、3 月 19 日に行われる「小中学校音楽祭」。生涯学習サロンに代わる事業として昨年からはまった企画です。事業担当は地域奉仕委員会ですが、これはプロバスクラブとしての事業ですから、全会員で役割分担をして支えていきましょう。未来ある子供たちの演奏活動のためにご協力をお願いします。

そして内山会員の仏像についての卓話。長年の研鑽の結果をご教示いただきます。いずれは優れた仏像を見る機会も持てますように期待しています。



3. ハッピーコインの披露

持田副会長からハッピーコイン 10 件の披露があった。(2～3 ページに掲載)

4. バースデーカード贈呈

2 月生まれの鈴木はるみ会員、泉道夫会員が欠席のため、バースデーカードは 3 月の例会で贈呈することとした。

5. 2 月のラッキーチャンス

今月のラッキー会員は土屋三千代会員、濱野幸雄会員、下山邦夫会員の 3 人でした。

6. 卓 話

(3～4 ページに掲載)

7. 幹事報告 持田幹事代行

「運営費小委員会」を立ち上げました。狙いは、従来から説明させて頂いておりますように、4～5 年前から比べますと会員数の減少があり、収支バランスに不均衡等が生じています。たまたまコロナ禍のために諸行事が開催できず、支出が減少しているために繰越金は増えております。そして今年度から学習サロンが中止され、音楽祭を開催するように変更となっています。もともとの本来の収支の姿を見出して、収入の範囲の中でいかにプロバスクラブの活動を効果的に行えるのか、予算の面から今一度見直そうと言うものです。検討結果が出ましたらご報告をします。

理事会では、前半期が終えましたので、今期の振り返りを始めました。各委員会の課題などを協議して、改善策などを考えています。

8. 各委員会からの報告

(1) 情報委員会

河合委員長

情報委員会の河合です。

お手元にプロバスだより第 327 号をお配りしました。投稿 2 本を頂いていましたが、編集の都合で来月号に掲載します。ご了解ください。

ホームページへの1月のアクセス件数は415件でした。例月に比べて若干の増加傾向にあります。画面等をさらに工夫して、見やすいページ作りを進めたいと考えています。

(2) 会員・研修委員会 杉山委員長

本日は会員委員会報告を省略します。研修委員会報告としては、老年研究会の2月のプログラムと4月のプログラムを登録会員さんのBOXに入れておきました。2月23日は、齋藤万里子会員がホームの入居者を同伴されてのプログラムを用意してくれています。又とない機会ですので積極的なご参加を期待しています。3月はクラブ事業の音楽祭があり研究会は休会です。

(3) 地域奉仕委員会 馬場委員長

1. 「八王子市立小学校・中学校 音楽祭」(3月19日開催)のチラシを配布しました。武田副委員長によるデザインです。協賛企業は(株)環境管理センター、共催は八王子ボランティアネットワークです。

2. 業務分担のお願い

プロバスクラブの地域奉仕活動は、クラブ全体で取り組む奉仕活動であることを前提に、地域奉仕委員会が計画の立案と諸準備を担当しています。これを踏まえ、昨年「25周年音楽祭」を参考に、当日の業務別の人員配置(案)を作成しました。ヘッドの方は、3月例会までにグループ毎の事前準備と分担に関するブレイクダウンを行い、当日の指揮をお願いします。

なお、担当業務のない会員は、ご来場の上、観客席からの応援をお願いします。

(4) 宇宙の学校 下山PJリーダー

お手元に「八王子宇宙の学校」の令和4年度レポートを配布しました。ご一読ください。令和4年度の事業は規模を縮小して実施しましたが、参加者からは好評をいただきました。

5年度の事業については、大幅な拡大は難しいので、本年度に似たような運営になると思われます。具体的な内容については2月16日の推進委員会で決定される予定ですので、本日の報告はここまでとします。

(5) 交流担当 一瀬担当理事

会員の皆様に全面的なご協力をいただきました11月の「東京八王子2022」全日本プロバス協議会第

10回総会・東京八王子大会の最終的な決算がまとまりました。295万円の支出に対して収入は276万円となり、クラブで負担いただくのは19万円となりました。当初の見込みより大幅に減少しましたが、これはMICE助成金や欠席会員にも参加費をご負担いただいたこと、酒類の提供など、いろいろな施策、コスト削減努力の成果であり、改めて皆様にお礼を申し上げます。これをもって本プロジェクトの最終報告といたします。

全日本プロバス協議会報告 一瀬幹事長

新年になってからの活動について2点報告します。全日本プロバス協議会の会則の改定版を発行したと協賛金募集の件であります。前者は11月の八王子の総会で承認された「会長任期を会計年度に合わせる」ことを柱とするものです。印刷物とメールで全国各クラブ及び役員に配布いたしました。

協賛金につきましては本日現在、当クラブと個人25名で44万円。全国のクラブからは5クラブ、個人15名で21万円のご応募をいただいています。合計で65万円となり、ありがたいことにご協力に心より感謝申し上げます。皆様の応援に応えるべく全日本の活動に全力で取り組む覚悟を新たにしているところです。

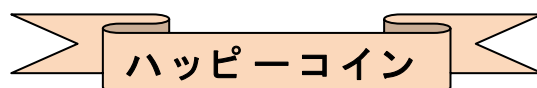
9. プロバス賛歌斉唱

10. 閉会 持田副会長

卓話では内山会員の「仏像のみかた」は大変勉強になりました。昔から広隆寺や中宮寺の弥勒菩薩の笑みには魅了されてきましたが、これほどたくさんの仏像の種類があるとは知りませんでした。

コンビニの数が55,000店、お寺の数が77,000寺と言いますので、仏像の種類もたくさん楽しめるはずで、参拝するのが楽しくなってきました。

3月の例会は、是非円卓でアクリル板無しの会食が楽しめるようにしたいものです。



◆トルコ地震 大きな災害に心よりお見舞い申し上げます。 有泉 裕子

◆年末から年始にかけて夫婦そろってコロナに罹患

し、少しばかり苦しみました。しかし重症化することなく、自宅療養で完治しました。

目に見えない何かに助けられて深く感謝しています。

土井 俊玄

◆やや小さいながら、しっかりした「宇宙の学校」の火をともしつづけました。令和5年度も実施する計画立案中です。

下山 邦夫

◆本日、「音楽祭」(3月19日)の業務分担をお願いいたします。ご協力よろしく願い申し上げます。

馬場 征彦

◆立春をすぎたというのに寒い日が続いています。皆さんも寒さに負けずに頑張ってください。息子一家が2度目のコロナにかかっています。保育園からかかってきました。ご注意を!!

飯田富美子

◆先日何年かぶりに宝塚劇場へ星組の公演を見に行きました(なかなかとれないチケットです)。青春時代の懐かしい思い出がよみがえって大きな感動を受けました。ハッピー!!

飯田富美子

◆これといってハッピーなことはありませんが毎回の事ですのでとりあえずコインを。

野口 浩平

◆全日本プロバス協議会への協賛金の支援で当クラブから現在19名30万円をいただいています。心から感謝申し上げます。

一瀬 明

◆オーストラリアの大学に行っていた孫が学年末の休暇で日本に帰ってきたので会食。20歳になって酒の相手をしてくれてハッピー!!

一瀬 明

◆立春も過ぎ、当クラブも徐々に諸活動にも温かさが入って参りました。3月19日の音楽祭、また全日本のプロバス協議会の会長クラブとしての活動など動きはじめています。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

持田 律三

2月例会の卓話

仏像のみかた 仏の心再発見

内山 雅之

(1) 仏教の伝来

仏教の伝わり方は北伝ルートと南伝ルートとがあります。わが国には北伝ルート、つまり西域諸国、中国、朝鮮半島を経て、1世紀頃に百済より伝わったといわれています。

(2) 最初の仏像

初めて仏像が造られたのは、ガンダーラ(現在の



パキスタン)とマトゥラー(現在のインド北部)において、釈迦の入滅から500年程たった紀元1~2世紀と考えられています。

(3) 仏像の種類

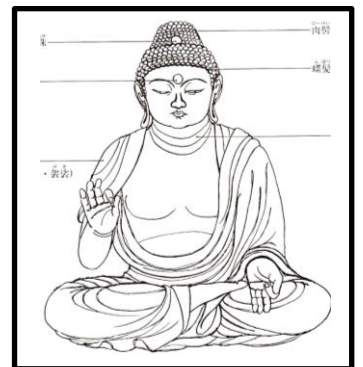
仏像は、①如来、②菩薩、③明王、④天部の4種類です。

(4) 仏像の特徴

① 如来

如来の特徴は、頭部は螺髪(巻き貝のような毛)、肉髻、着るものは衲衣のみ。

手は施無畏・与願印を結ぶ。



② 菩薩



菩薩は宝冠を戴き、耳飾りや腕や臂に釧を着ける。条帛と呼ばれる細い裂を上半身にまとい、天衣を着け腰部には裾(下半身を覆う衣服のこと)を巻き全身を賑々しく飾り立てる。手は主に施無畏・与願印を結ぶが、決まっているわけではない。変化観音になると手は様々。

③ 明王

明王は多面多臂の像が多く、忿怒形、焰鬘、服装は菩薩系と同じです。イラストは多面多臂ではない、一面二臂の不動明王です。



④ 天部

天部は特に決まりはないが、菩薩より世俗的な身なりで、貴顕天部と武装天部とがあります。

武装天部は肩、胸、腹、脛などを守る甲(かぶと)と呼ばれるものを身に着ける場合もある。



(5) 実際の映像

スクリーンに映し出した仏像は次の通りです。

- ① 釈迦如来、薬師如来、阿弥陀如来、大日如来。
- ② 菩薩像では、観音菩薩、十一面観音、千手観音、如意輪観音、地藏菩薩など。
- ③ 明王では、不動明王、愛染明王、孔雀明王。
- ④ 天部では、梵天、帝釈天、仁王像、四天王、毘沙門天、十二神将、吉祥天、八部衆など。

(6) 荘厳具

仏像の化身から発する後光を象ったものを光背という。頭部の後光が頭光、体から発するのが身光、合わせて光背という。

映像では 15 種類紹介しました。

仏像を安置するための台を台座という。蓮華座を含めて数多くの台座があります。

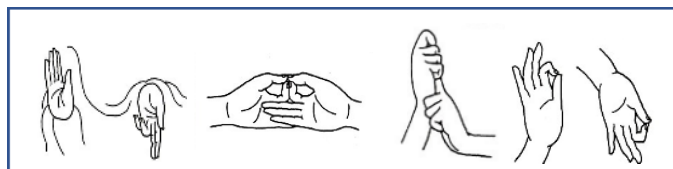
映像で紹介したものだけでも 12 種類あります。

(7) 座法



結跏趺座 半跏趺座 倚座 跪坐 輪王座

(8) 印相



施無畏与願印 阿弥陀定印 智拳印 来迎印

第 1 回は映像を見ていただきながら説明してきました。次回も、「仏像の材質技法と仏師」、「仏像の歴史」、「鑑賞の仕方」、「仏像制作の背景」などについて、今回と同様に映像を通してお話する予定です。

我ら昭和世代 (5)

怖い話

杉山友一

最近の世相が何ともお気軽で恐ろしい。先日もお馴染みのテレビのワイドショウで、その筋の専門家も交えて、いとも気軽に物騒な会話が飛び交っていました。フィリピンから日本人の容疑者が強制送還された凶悪広域強盗事件の話ではありません。それ以上に怖い話です。3 年先の 2026 年には中国の習近平首脳は必ず台湾に攻め込む。その時、日本の自衛隊は米国と一体になって中国軍を阻止する行動を起こす(岸田ドクトリン)。その結果中国は沖縄(近隣諸島を含む)を皮切りに日本中の米軍基地を攻撃目標にするという話です。何とももうこれは第三次世界戦争の勃発予測です。その結果、日本は多数の自衛隊員を含めて多くの人命を失うことになる、しかも、一度始まったその戦争はウクライナもどきで終わる見込みは全くない、というのです。既にアメリカはハワイにある極東総司令本部を日本の横田基地に移すとされています。従ってここが最も重要な攻撃対象となるとのこと。因みに老生は 1980 年代、福生ロータリークラブの幹旋で、横田基地の将校クラブで交流会食会に参加した折に、ここ横田基地は東京都福生市ではなく、米国カリフォルニア州ですとの説明を受けた記憶が蘇ります。アメリカという国は、これまでに幾度となく大きな戦争を体験してきましたが、本土アメリカ大陸に外国軍を迎えて戦ったことは只の一度もない国です。戦場は常に外国の領土なのです。絶対に本土は傷ませない、それがアメリカの矜持です。近年はまたトランプ大統領以降、アメリカの国民感情は、アメリカが世界の警察官役を引き受けることを良としていません。仮に日本が大きな痛手を受けたとしてもアメリカ・ファーストは揺るがないでしょう。77 年前の昭和 20 年 8 月、米軍の B29 爆撃機編隊による八王子大空襲で、雨霰と降りしきる焼夷弾の中、母子(小学 4 年生の私と一つ年上の姉、4 歳の弟)で浅川の河川敷を逃げ回った死の恐怖が鮮やかに蘇ります。何としても戦争は絶対に起こさせてはいけません。

今改めて、米中大国間の緊張の高まりを受けて、

一国民として、日本人の役割とは何だろうかを考えざるを得ません。日本の国土を二度と戦場にしないと誓った昭和 20 年の固い決意のもとで、その方策を生み出すことこそ政治家の務めではないのかと叫びたくなります。いっその事、一億人署名運動などという国民運動の方がより平和的でアピール度が強いのでは、などと素人は考えます。

日本の GDP はアメリカ、中国に次いで世界で 3 位と言われていますが、世界全体に占める割合は僅か 5% (2021 年) に過ぎません。1995 年には 18% まで高まったものが、2030 年にはインドにも肩を並べられて、その後は又じわじわと後退し 3% まで落ち込むと予測されています。一人当たりの GDP で見ても、昨年、既に台湾にも抜かれて、韓国とも肩を並べたとの報告があります。明治建国から 77 年で昭和 20 年の敗戦、そして今大戦後 77 年を経て令和 5 年、経済大国の名が大きく揺らいできました。かつて、1979 年に Japan as Number One と言わしめた日本経済の黄金期を過ごしてきた我々昭和世代、その一生の終わり際が途轍もないどん底の日本国とは、一体何の因果でしょうか。3 年先の 2026 年は果たして「平時」か「兵事」か、その年、何と我が卒寿が巡り来るのです。敬愛する渋谷文雄会員が故人となって足掛け 4 年、昭和初期に日本の国威の象徴として描かれた満州国に青雲の志を託した氏だが、無残な敗戦が運命を翻弄、祖国への帰還は終戦から漸く 8 年後の昭和 28 年の秋でした。帰国後は努力の人として一心不乱、事業家として成功の道を歩んだ故人、その人生を賭けた分厚い経験から「戦争だけは金輪際起こさせてはならん」と叫び続けていた故人、今生きていたら、その時代評論を是非聞きたかった。

ミュージアム散歩

「ヴァロトン 黒と白」展

三菱一号館美術館

池田ときえ

今回の鑑賞会は参加者 7 名。八王子から東京まで中央線 1 本で乗り換えなしが魅力のひとつ。平日午前中の車内はすいていてゆっくり座れます。お互いに顔見知りながら話す機会の少ない会員同士、この時とばかり



《フルード (鏡面写)》1896年
油彩、縦24.4x18.0cm
三菱一号館美術館蔵

に話が弾みます。これは小グループ活動のメリットでしょう。

三菱一号館美術館は、東京駅丸の内南口から歩いて 5 分ほどの煉瓦造りの風情ある洋館です。前身は明治時代の 1894



年に、三菱一号館として岩崎財閥により竣工された日本初のオフィスビル、テナントビルです。設計はジョサイア・コンドル、イギリス様式です。1968 年に諸事情で解体されたのち、2006 年に美術館として復元再建されました。美術展では作品はもちろんですが、展示会場も鑑賞対象になることがあります。ここ三菱一号館美術館もそのひとつとして期待していたので、お楽しみは 2 倍になります。

フェリックス・ヴァロトンは 19 世紀末のパリで活躍したナビ派の画家、油彩と版画を手がけています。黒と白のみで表現した版画はその意外性で人気を博しました。題材も「楽器」、「万国博覧会」、「アンティミテ」、「これが戦争だ！」など当時の風俗、世情をかなり辛辣に表現しています。省略した線、大胆な空間処理、黒白の対比には学ぶ所が多くありました。館所蔵のヴァロトン 180 点に加え、特別展示のロートレックの作品も堪能しましたが作品の多さに気を取られて、建物の鑑賞が十分にできなかったのが心残りです。館内はアールヌーボー調の設えでしたから、次の機会には入念に見て回りたいと思います。中庭やカフェ、レストランもぜひ！

昼食は東京会館展望レストランでプチ贅沢ランチを。久々の外出だもの、たまにはいいよね。ここではゆっくり休んで、またまた話に花が咲きました。

食後の散歩で東京駅へ戻り、次の予定会場インターメディアテクへ。KITTE ビル東京中央郵便局の 2 階、3 階にある博物館的美術館。2 階はいつもの常設展示、さまざまな博物標本が並んでいます。3 階は開館 10 周年記念展、テーマは「極楽鳥」。第 1 室には各種の極楽鳥の剥製オンパレード。この美しい羽根には、装飾用に乱獲されたという歴史があります。ついでに、フクロウ、尾長鳥も。尾長鳥

俳句同好会便り

私の一句〈二月の句会から〉

河合 和郎

ようやくコロナ禍から解放されそうな気配だ。人間関係にとっていかにコミュニケーションが大切かということ思い知らされた3年間だった。マスクのない賑やかな句会が待ち遠しい。

和やかに集う仲間や春立つ日 下山 邦夫

楽しいお仲間の集まり。プロバスであれ老人会や趣味の会であれ、人は人によって癒されるもの。

残雪の四方の山々輝けり 飯田富美子

故郷の山々の連なりは四季それぞれに趣を異にする。揚句は早春の大景を描いて秀逸。

同じ道歩数増えたる老いの春 馬場 征彦

年を取るとはこういうことなのかもしれない。「歩数増えたる」の中七の措辞が何とも切ない。

銅像の頭重たや春の雪 野口 浩平

雪を載せた銅像の頭が重たげに見える。俳句作りはこんな風景も作品に仕立ててしまうのだ。

バス電車乗客マスクあまねしや 東山 榮

コロナ禍も早3年。マスク無しの生活は考えられなかった。令和の世相を映す一句である。

足早に橋を渡れば冬北斗 矢島 一雄

大きな景の一句。寒さに耐えながら橋を渡り切る。ふと見上げると凍れる北斗七星が輝いている。

干し芋の焼き加減よき小正月 池田ときえ

正月料理にもあきて、素朴な干し芋を火にあぶっている作者。近頃の干し芋は意外と美味なのだ。

便り書く筆ふと止まる初音かな 田中 信昭

まだホーホケキョとは鳴けない鶯の初音。じっと耳を澄ませる作者。風情のある佳句が生まれた。

薄氷やすくふ幼の手に溶けて 河合 和郎

あるかないかの薄氷。幼い手にもすぐ溶けてしまう。そんな春の一コマをそのまま一句に。

編集後記：寒さの為か出席率が低迷しています。温かい春の訪れが待たれます。内山さんの仏像のお話、3月例会での「鑑賞の仕方」が楽しみです。 情報・有泉裕子

のあの5メートルにも及ぶ尾羽根は人工的に作出したもので、鳥が散歩する時は飼い主が長い尾羽根を持って後ろからついて歩くのだそう。

第2室は極楽鳥をはじめ鳥をモチーフにしたブローチなど宝飾品のコレクション。ジュエリーの名門、仏のヴァンクリフ&アーペルの100余点が展示されていました。19世紀から20世紀にかけて制作された作品は、古き良き時代の輝きに満ちています。いつもは人影の少ない会場に、今回は職員の姿が目立ちますが、納得。思いがけない目の保養でした。

丸の内は名前からもわかるように、かつては江戸城を取り巻く大名屋敷が並んでいた地域です。

今は日本有数のオフィス街、高層ビルが林立していますが、三菱一号館のような昔の風情を残した歴史的建造物もいくつかあります。江戸時代の歴史探訪も兼ねて、この辺りに詳しい会員のご案内でそんな建物巡りも企画してみたいと思います。いい情報がありましたらお知らせを。



(八王子のお上りさんご一行)

帰りは予定通り3時15分発の「かいじ」で。ホームの券売機でチケットを買いましたが、ここで思わぬ失敗。八王子、の表示で迷わず押した画面は午後6時発の「八王子号」だったのです。車内に入って気が付きましたが、発車時刻は目の前。「走っている電車から降りろ、とは言わないよ」河合さんの一言で、皆さんそれぞれランプが赤の空席に。まもなく見えた車掌さんは手慣れた様子で「大丈夫ですよ。追加料金はいただきませんから空いてるお席へどうぞ」と優しく手配してくれました。間違えても大丈夫！無用の自信がまたひとつ増えました。

3月は駒場の日本民芸館、染色の「柚木沙弥郎展」の予定です。